

2014年10月21日
株式会社日立製作所

**日立のサーバ論理分割機構 Virtage が
SAP HANA®の動作可能な仮想化技術として SAP 社から認定**
VirtageとSAP HANAを組み合わせた構成を
「日立インメモリDB アプライアンス for SAP HANA」に追加し、販売開始

株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO:東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、日立独自のサーバ論理分割機構 Virtage(バタージュ)が、SAP SE 社(以下、SAP 社)の高速インメモリプラットフォーム*1である SAP HANA の動作可能なハードウェア仮想化技術として、業界で初めて*2SAP 社から認定を取得しました。日立は、SAP ジャパン株式会社(代表取締役社長:福田 譲/以下、SAP ジャパン)の協力のもと、今回認定を取得した SAP HANA と Virtage を組み合わせた構成を、日立のブレードサーバやストレージなどと SAP HANA を組み合わせて提供する「日立インメモリ DB アプライアンス for SAP HANA」に追加し、10月22日から販売を開始します。

これにより、複数の SAP HANA システムを高信頼な Virtage による仮想化環境上に統合できるため、企業やサービス事業者は、システムの管理、運用にかかるコストを低減できるとともに、サービス水準の安定した高信頼なクラウドサービスとして SAP HANA システムを提供できるようになります。なお、日立は本構成をシステム基盤とした SAP HANA のクラウドサービスを2014年度第4四半期から提供開始する予定です。

*1 インメモリプラットフォーム:メモリ上で高速なデータ処理を実現するソフトウェア

*2 2014年10月21日時点、日立調べ。

近年、企業におけるクラウドサービス利用の本格化や多機能情報端末の急速な普及などに伴い、企業が保有するデータは多様化するとともに爆発的に増加しています。また、これらの大量のデータをリアルタイムに分析し、新規ビジネスの早期立ち上げにつなげる取り組みが活発化しています。

日立は、ビッグデータのリアルタイムな高速分析が可能なインメモリプラットフォームである SAP HANA と、日立のブレードサーバやストレージを組み合わせたアプライアンス製品として、「日立インメモリDB アプライアンス for SAP HANA」を2011年12月から提供しています。

また、日立はサーバを論理的に分割し独立性の高い論理区画(LPAR)*3単位でのシステム構築を可能とする独自のハードウェアベースの仮想化技術 Virtage を、統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」に搭載し、提供しています。Virtage は、ハードウェア層で仮想化を実現するため、物理サーバと同等の信頼性や処理性能を実現できるほか、個々の LPAR の独立性が高く、負荷変動に伴う性能低下や障害の影響を相互に受けることがないなどの特長があります。

*3 LPAR:サーバなどのハードウェアが持つリソース(プロセッサ、メモリなど)を論理的に複数の区画に分割して割り当てる方式(Logical PARTitioning)、または、その割り当てられた区画(Logical PARTition)。

今回、SAP 社からの、SAP HANA と Virtage を組み合わせた構成での認定取得を受け、「日立インメモリ DB アプライアンス for SAP HANA」に同構成を追加し、提供を開始します。サーバに

「BladeSymphony」のブレードサーバ「BS500」、ストレージにユニファイドストレージ「Hitachi Unified Storage VM」、OS にノベル株式会社(代表取締役社長:河合 哲也)の SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications を用いた環境に、SAP HANA システムを構築して提供するもので、これにより、SAP HANA が動作する複数のシステムを Virtage によるマルチテナント環境*4に統合でき、システムの管理、運用にかかるコスト低減を実現します。さらに、Virtage は物理サーバと同等の高い信頼性、処理性能や耐障害性を実現しているため、企業の IT 部門やサービス事業者などは、サービス水準の安定した高信頼なクラウドサービスとして、SAP HANA による高速なデータ処理をユーザーに提供することが可能となります。また、アプライアンス製品として提供することで、高信頼、高性能な SAP HANA のマルチテナント環境を短期間で構築でき、新規ビジネスの早期立ち上げに貢献します。

*4 マルチテナント環境:1つのシステム環境(1台のサーバ)を、複数企業のシステムやアプリケーションで共同利用する環境のこと。

日立は、今後も、SAP ジャパンとの強力なパートナーシップのもと、SAP HANA をベースとした技術連携を深め、高信頼なクラウドコンピューティングや高性能なエンタープライズコンピューティングを強化し、企業の柔軟かつ迅速なデータ利活用を支援していきます。

■本発表に関するパートナー企業からのコメント

SAP ジャパン株式会社 代表取締役社長 福田 譲氏

SAP ジャパンは、このたびの日立製作所の発表を心より歓迎いたします。日立のサーバ論理分割機構 Virtage による仮想化環境では、パフォーマンスの低下を気にすることなく、幅広いお客様層に SAP HANA を活用頂くことができます。これにより、リアルタイムなデータ利活用を促進し、お客様のビジネス価値の創出や新規ビジネスの早期立ち上げに貢献するものと期待しております。今後とも両社の協業体制を強化し、SAP HANA と日立の IT プラットフォーム製品を活用したシステムの積極的な提案と、新たなソリューションの開発・提供に向けて積極的に協力していきます。

インテル株式会社 常務執行役員 ビジネス・デベロップメント 平野 浩介氏

インテルは、日立製作所のサーバ論理分割機構 Virtage 上で SAP 社の HANA の本格稼働に関する認定を取得したことを心より歓迎いたします。

これによりインテルプロセッサを搭載し、顧客のビックデータ利活用を促進する高信頼なクラウド基盤やサービスの提供が加速すると期待しています。これまでも日立製作所とインテルは、技術的な協業により、インテルプロセッサの提供する仮想化関連機能と Virtage の連携を進め、高性能かつ高信頼なサーバ仮想化環境を提供してまいりました。今回、両社でのデータ解析や対策による性能改善を通じ、インメモリー・データベースの性能向上に貢献できたことを嬉しく思うとともに、今後もより一層の性能向上に向けて協力してまいります。インテルのプロセッサの優れた性能、および拡張性と日立製作所のサーバ論理分割機構との連携で実現するクラウド基盤が、お客さまのビジネススピードや価値の向上を実現するものと期待しております。

ノベル株式会社 代表取締役社長 河合 哲也氏

ノベルは、このたびの日立製作所の発表を歓迎いたします。また、日立製作所のサーバ論理分割機構 Virtage を搭載した BladeSymphony については、同時に SUSE の認定プログラムである YES 認定を取得いただき、大変嬉しく思っています。日立製作所の最新ソリューションをしっかりとサポートすることを目的としたこの認定には、スケーラビリティの向上を実現する日立製作所独自の FC-HBA(Fibre Channel Host Bus Adapter)ドライバも含まれており、お客様は SUSE Linux Enterprise Server から安心してご利用いただけます。SAP HANA についても、SUSE は 4 年以上にわたり SAP 社と協業し、世界で 3,000 社以上のお客様が SUSE Linux Enterprise Server 上で SAP HANA を利用しています。さらに、SUSE は SAP 社のソフトウェア開発プラットフォームとして採用されており、現在 SUSE は、SAP HANA の HA(High Availability)ソリューションを提供する唯一のオープンソースソフトウェアとなっています。ノベルは今後もパートナー企業との協創を通じ、お客様へ一層の価値を提供して参ります。

■新製品の価格と提供開始時期

製品名	主な構成要素		価格	提供開始時期
日立インメモリ DB アプライアンス for SAP HANA	サーバ	・BladeSymphony BS500 BS520X サーバブレード	個別見積	2014 年 11 月 21 日
	ストレージ	・Hitachi Unified Storage VM		
	ソフトウェア	・SAP HANA 1.0 ・SUSE Linux Enterprise Server for SAP Applications 11		
	サービス	・SAP HANA 基本導入サービス		

■Hitachi Innovation Forum 2014 TOKYO での紹介について

日立は、2014 年 10 月 30 日(木)～31 日(金)に東京国際フォーラムで開催する「Hitachi Innovation Forum 2014 TOKYO」において、SAP HANA と Virtage を組み合わせた構成を追加した「日立インメモリ DB アプライアンス for SAP HANA」について紹介します。

<http://iforum.hitachi.co.jp/>

■日立と SAP とのパートナーシップについて

日立と SAP ジャパンは、1994 年に日本国内における「サービスパートナーシップ」契約を締結して以来、協業範囲をサービスからプラットフォームまで拡大してきました。さらに、日立は SAP 社と 2008 年に「SAP グローバルサービスパートナー」契約、2011 年に「SAP グローバルテクノロジーパートナー」契約、2013 年には日立の米国子会社である日立データシステムズ社と SAP 社によるグローバル OEM(Original Equipment Manufacturer)契約を締結し、グローバル顧客に対する共同での販売・マーケティング活動にも取り組んでいます。

■SAP HANA について

SAP HANA は、大量データをサーバのメインメモリでリアルタイムに処理するインメモリ・コンピューティング技術です。メモリ大容量化、マルチコア化、分散並列処理技術、高度圧縮技術といったハードウェア、ソフトウェアのテクノロジーの飛躍的な進化により、大規模なデータベースからデータを吸い上げて加工・集計し、データを利活用するまでにかかっていた作業時間を大幅に短縮します。

■ 日立サーバ論理分割機構 Virtage に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/virtage/>

■ 他社商標注記

- ・SAP、HANA、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名は SAP 社のドイツおよびその他世界各国における登録商標または商標です。
- ・Intel、インテルはアメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ・SUSE は、米国およびその他の国における SUSE LLC.の登録商標または商標です。
- ・Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 IT プラットフォーム事業本部

お問い合わせフォーム:<http://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
